

テーマ：駆け込み需要の反動からたばこ販売が大幅減少
～10-12月期の個人消費を0.6～0.7%ポイント程度押し下げか～

発表日：2010年11月12日（金）

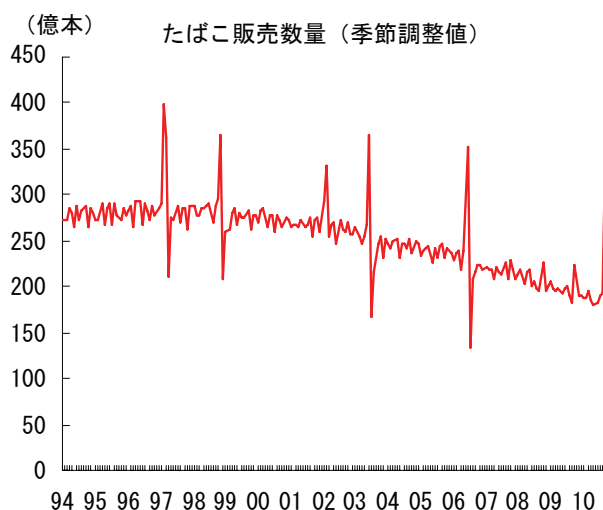
第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

要旨

- 10月のたばこ販売数量は前年比▲69.9%となり、9月の同+88.0%から急減した。10月から実施されたたばこの値上げが影響している。
- たばこ販売は7-9月期に前期比+34.2%と急増したが、10-12月期は前期比4割以上の落ち込みになる可能性が高い。
- たばこ要因によって、7-9月期のGDPベース個人消費は前期比で+0.3～0.4%程度押し上げられ、10-12月期は▲0.6～▲0.7%程度押し下げられる可能性がある。

日本たばこ協会が発表した紙巻たばこ販売実績によると、10月のたばこ販売数量は前年比▲69.9%の61億本となった。10月1日からの値上げを前にした駆け込み需要により9月の販売数量は前年比+88.0%と急増していたが、その反動から大幅に落ち込む形になった。季節調整値でみると、9月の前月比+83.2%に対して、10月は前月比▲80.7%と急減している（季節調整は筆者）。過去のたばこ値上げ時では、値上げの前月に前月比2割～5割程度の上昇、値上げ月に4割～6割程度の減少が見られたが、今回は、過去の値上げと比較して値上げ幅が非常に大きかったことから、駆け込みもその反動も大きくなった。たばこの買い置きが底をついた喫煙者が徐々に戻ってくることから11月以降はある程度水準を戻すことが予想されるが、それでも10-12月期は前期比4割以上の落ち込みになりそうだ（7-9月期は前期比+34.2%）。

こうした駆け込み需要とその反動減は、個人消費にも大きな影響を与えることになる。11月15日公表の7-9月期GDPにおいては、たばこの駆け込み需要によって個人消費は前期比で0.3～0.4%ポイント程度押し上げられる見込みである。一方、10月の落ち込み度合いから類推すると、10-12月期は逆に0.6～0.7%ポイント程度押し下げられる可能性がある。7-9月期の個人消費が押し上げられた以上に、10-12月期の消費は下押しされることになる。10-12月期のGDPはやはりマイナス成長が濃厚だろう。



（出所）日本たばこ協会